【別紙６】

統合に向けた３校の交流活動について

統合に向けた３校の交流行事・授業の概要

○　統合によって、児童の心理的な負担が生じないよう、統合前に対象校同士の交流活動を実施します。

○　交流活動の内容は、３校が協議・検討して決定し、令和８年度から令和９年度にかけて、原則として令和 10 年４月の統合時点で木川小学校に在籍する学年の児童（令和８年度：１～４年生、令和９年度：１～５年生）を対象に実施します。

○　交流活動の実施主体は３校ですが、必要な支援等は区役所と教育委員会事務局が行います。

令和８年度に実施した交流活動

【水遊び】

令和８年７月３日（金）@木川小学校　木川小学校・木川南小学校の１年生を対象に実施









【別紙６】

【合同プール学習】

令和８年７月７日（火）@西中島小学校　３校の２～４年生を対象に実施






＜教職員アンケートより（抜粋）＞

○　子どもたちの様子

・日程調整など細かい部分の計画がとても大変そうだったが、丁寧な打ち合わせのおかげで交流当日はとてもスムーズに活動できていて、児童も安心して交流を楽しめている様子だった。
・普段、大人数で過ごすことのない子どもたちが、同年代の子どもたちと楽しむ姿を見て、とても嬉しかった。終わった後には、「楽しかったよ。」「友達ができたよ。」等、喜ぶ姿を見て、継続的に交流事業があれば、統合への不安もなくなるだろうと思った。
・交流前の子どもたちは緊張していたが、とても楽しそうに交流しており、保育園や幼稚園の時の友達に出会えて嬉しそうにしていた。

○　教職員の視点から

・人数や雰囲気など、統合後の各学年の様子のイメージが湧いたのが一番良かった。
・統合先が木川小学校になるので、木川小学校の敷地を使用した活動ができたらよい。
・運動会の団体演技や音楽会の合奏を見せ合うなど、人数の迫力を実感できるような場を増やせるとよい。
・木川小学校と他の２校の人数差が大きく、人数が少ない学校の児童が委縮してしまうので、学年

全体どうしの交流ではなく、木川小学校のどこか１クラスとの交流とかでもよいのではないか。
・保護者の安心感が得られるように、継続して取り組むことが必要。
・今回の取り組みの事前打ち合わせを通して、教職員の交流も図ることができた。

交流活動を終えて

○　今回の交流活動を皮切りに、木川小学校が中心になって、児童については特別支援学級や児童会活動、教員については研修会や研究授業等、今後さまざまな交流活動を企画する機運が高まっています。
○　円滑な統合に向けて、引き続き交流活動の企画・実施を進めていきます。
○　今後は、３校のスポーツ交流や校区探検などの校外学習の実施を予定しており、順次、進捗について検討会議でご報告する予定です。